

教育・サービス活動

とやま IT フェア 2009 に参加して

2009年の「とやま IT フェア」は、それまでの会場だった富山テクノホールから富山国際会議場に移し、メインテーマを“IT 利活用による「元気とやま」の創造を目指して”として、土曜日を含む2009年10月23日(金)、24日(土)に開催され、29の企業・団体が出展した。

富山大学からは、総合情報基盤センターが

「富山大学が目指す Cloud Computing による Virtual Computing Laboratory と Virtual PC 教室 (図 1)」を、工学部の堀田研究室から「落雷ハザード・マップの情報配信・表示システム」を展示し、次世代コンピューティング環境と Google Maps の API を使用したハザード・マップの研究成果を紹介した (写真 1~6, 11,12)。



写真 1. 総合情報基盤センターの展示

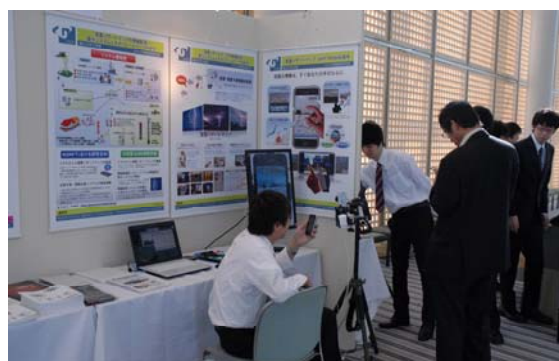


写真 2. 工学部堀田研究室の展示の様子

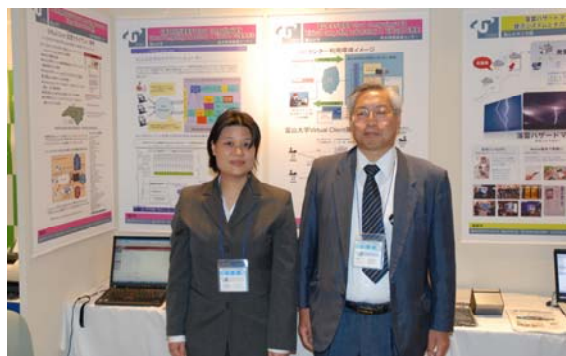


写真 3. 知的財産マネージャーの小谷さんと高井



写真 4. 工学部堀田研究室のスタッフの皆さん

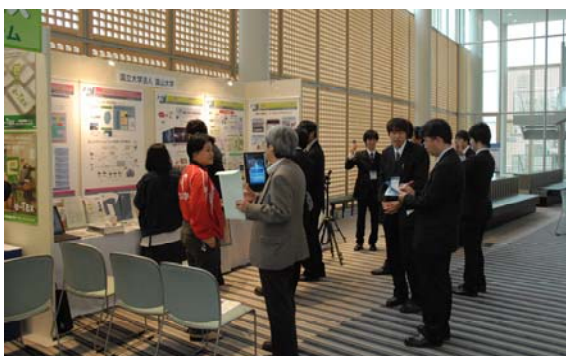


写真 5. 賑わう富山大学のブース



写真 6. 見学者に説明する工学部堀田研究室のスタッフ

2日間の入場者は、23日(金)が1,894人、24日(土)が1,499人、2日間で計3,393人となり、昨年の入場者5,726人の6割にも満たなかった。

また、工学部の知能情報工学科の学生が「151会」というチーム名で「ロボット・プログラミング競技会」に参加し、プログラミング技術を競っていたのが印象的で(写真7~10)、とやまITフェアではこのロボット競技会がいつも盛況である。やはり若手の技術者を啓蒙するならこのようなコンテストが一番良いのだと思う。

このとやまITフェアは年々低調になっ

てきており、石川県のe-messe Kanazawa 2009と比べると、出展者も入場者もじり貧で、企画がマンネリ化し、このままでは、2010年の開催が危ぶまれる。企画に若者を参加させ、県内の工業高校などの生徒をバスで送迎するなどのサービスも必要である。若い世代がアイデアを出し、参加しなかったなら、一段と尻すぼみになるのは必至である。世界ではKindle DXなど電子ブックが普及し、富山では北日本新聞社がWebunと言って、Web新聞サービスをしている時代である。きっとやり方があるはずだ???



写真7. ロボットのテストを行う参加者



写真8. 工学部知能情報工学科 151会 (左側)



写真9. 工学部知能情報工学科 151会のスタート



写真10. 思わず駆け寄る 151会のスタッフ



写真11. とやまITフェアの「さびしい」開会式



写真12. 記念講演をする越原市美さん

講演会「大学の情報連携統括推進 -アカデミック・クラウドの可能性-」 実施報告

総合情報基盤センターでは、大学の多様化した情報システムの連携・統括を推進する環境としてのアカデミック・クラウドについての知識を深めることを目的として、この分野の第一線でご活躍の名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室の梶田将司先生を講師として招き、アカデミック・クラウドの可能性に関する講演会を開催しました。

主催	富山大学総合情報基盤センター
講演会名	大学の情報連携統括推進 -アカデミック・クラウドの可能性-
実施日時	平成22年1月8日(金) 15:00~16:30
会場	富山大学五福キャンパス黒田講堂会議室
講師	名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 准教授 梶田 将司
内容	大学の運営の効率化, 教育・研究サービスの充実, 地域社会への広報, 研究成果の発信といった、今後、大学に求められる課題について

2010年1月8日(金)
15時~16時30分(受付:14時30分~)
会場:富山大学 黒田講堂会議室

講師:名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室
准教授 梶田 将司

大学の運営の効率化
教育・研究サービスの充実地域社会への広報
研究成果の発信といった今後
大学に求められる課題について

対象:大学の教職員
参加費:無料

申込方法:事前申込必要(当日申し込み可)
申し込みについては、富山大学総合情報基盤センターのウェブサイト
「講演会申し込みフォーム」から申し込みいただけます。
http://www.itcu-toyama.ac.jp/course_out/apply/iaapply.html
その他詳細は、講演会「大学の情報連携統括推進」のウェブページ
http://www.itcu-toyama.ac.jp/course_out/100108.html を
ご覧ください。

主催・問合せ先: 富山大学総合情報基盤センター 電話: 076-445-6946

講演では、まず大学での情報システムの多様化、複雑化に伴い、情報へのアクセス性が悪化しているという、大学内情報環境の問題点が挙げられ、それらのシステムが情報利用者の視点ではなく、情報発信者の視点で構築されていると指摘されました。

そして、この問題点を踏まえ、情報サービスの技術面および組織面において統合化された名古屋大学でのポータルを紹介がされました。

次に、アカデミッククラウド環境での大学間連携型学術情報プラットフォームモデルの説明がされ、実際の共同研究例として、仮想コンピューティング実験室、災害のための連携型データ貯蔵サービス、教育研究支援ツール開発・運用基盤システムが紹介されました。

講演に続いての質疑応答では、本学の教職員をはじめとした聴講者からの質問があり、講師の先生から丁寧な回答を受けました。

表計算講習会（学生向け）報告

1. 講習会日程

第1回目 [前期] 平成21年 5月 25日 [後期](月)11月 9日(月) 6日(金)13:00～14:30
 第2回目 [前期] 平成21年 6月 1日 [後期](月)11月16日(月) 13日(金)13:00～14:30
 第3回目 [前期] 平成21年 6月 8日 [後期](月)11月30日(月) 20日(金)13:00～14:30
 担当：総合情報基盤センター 技術補佐員 牧野久美
 場所：総合情報基盤センター第1端末室 (1F)

2. 講習会目的

MS-Office Excel 2007を利用して、情報処理科目で学んだ表計算ソフト活用の復習を行う。
 表計算ソフト活用の基礎的な事項を習得し、授業や就職後の実務での利用法を理解する。

3. 受講者数

前期 (5月)	学部生1名		計1名
後期 (11月)	学部生4名	大学院生2名	計6名

4. 使用教材

- ・ テキスト「Excel 標準テキスト [基礎編]」Office2007 対応 技術評論社
- ・ 講師作成補助教材

5. アンケート結果

- | | | | | | | |
|----------------------|------------|-----|----|----------------|-------------|----|
| ① あなたの所属をお答えください。 | 学部 | 理 | 3名 | ④ 開催日時は適当ですか。 | 適当 | 4名 |
| | | 人文 | 3名 | | 普通 | 2名 |
| | | 工 | 1名 | | 不適当 | 1名 |
| | 学年 | 2年生 | 1名 | ⑤ どの曜日が適当ですか。 | 月 | 4名 |
| | | 3年生 | 3名 | | 火 | 1名 |
| | | 4年生 | 1名 | | 水 | 3名 |
| | 大学院2年 | | 2名 | | 木 | 1名 |
| ② どのようにこの講習会を知りましたか？ | 学部に掲示のポスター | | 6名 | | 金 | 1名 |
| | 知人から | | 2名 | | 土 | 1名 |
| | その他 | | 1名 | ⑥ どの時間帯が適当ですか。 | 9:00～12:00 | 1名 |
| ③ 開催時期は適当ですか。 | 適当 | | 4名 | | 13:00～15:00 | 6名 |
| | 普通 | | 2名 | | 15:00～17:00 | 2名 |
| | 不適当 | | 1名 | | 17:00～19:00 | 1名 |
| | | | | その他 | | 1名 |

- ⑦ 講習会の時間は、適当ですか。
 - 長い 0名
 - 適当 5名
 - 短い 2名
- ⑧ どんな理由で受講されますか。
 - 就職準備 6名
 - 授業の復習 4名
 - 資格取得 1名
- ⑨ 講習内容について
 - 易しすぎた 0名
 - 易しかった 1名
 - 普通 2名
 - やや難しかった 3名
 - 難しかった 1名
- ⑩ その他どのようなコース等があればよいですか。

「今回の講座の発展コース」「Word」「マクロ」「Power Point」「Access」「資格取得のための短期講習」

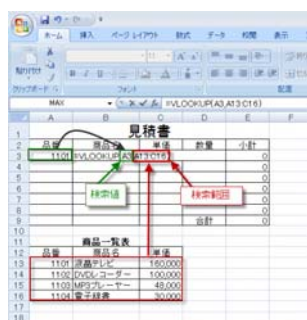
- ⑪ ご意見、感想などございましたら、ご記入ください。
 - ・ 操作説明を見てから実践してみる授業の形式がとてもわかりやすかった。
 - ・ それぞれの進度を見て丁寧に教えてもらい良かった。
 - ・ 少人数だったので、1年生の情報処理の授業より、質問がしやすかった。
 - ・ 今回の講習が無駄にならないよう自主学習を進めてしっかり身につけたい。
 - ・ この講習会をきっかけに、自分でも学習してみようと思った。
 - ・ 友人に聞くまで講習会がのこを知らなかったもので、もっとポスターを増やしてほしい。
 - ・ 内容は難しかったが、しっかりと教えてもらえて楽しかった。
 - ・ とても有意義だったのでもっと多くの人が受講すれば良いと思う。

6. おわりに

昨年は、基礎講座を7月、応用講座を11月に行ったが、授業のスケジュール上、7月と11月の両方を受講できない人もいた。そこで今年は講座日程を前期のみ、あるいは後期のみで完結できるように内

容を凝縮させ、前期5月の3回と後期11月の3回、同じ内容で実施した。ポスターも昨年より早い時期に掲示し、図書館にも依頼した。前期の参加者が1名と少なかったことから、日程を考慮する必要があったと思う。

また、昨年のアンケート結果から、就職準備を目的とする参加者が多かったため、昨年に引き続き、作業を効率化するための実践的な例を数多く内容に盛り込んだ。また、「Excel」に限らず他の表計算アプリケーションにも対応できるように「Excel」独自の機能に偏らないよう配慮した。



<補助テキストの一部>

受講者との会話の中で、就職のプラスになるよう資格取得という具体的な目標を持って取り組んでいる学生が増えていることを感じた。また今回の講座からさらに発展した内容の講座の開催を希望する声も聞かれた。今回の講習がきっかけとなり、学習の幅をさらに広げ、それぞれが目標を達成されることを願っている。今後も教材に工夫しながら、自主学習のきっかけとなるような機会を提供していく努力を続けていきたいと思う。

学内講習会企画・開催状況 (2009.3.1~2010.2.28)

平成 21 年 3 月から平成 22 年 2 月までに総合情報基盤センターで企画・開催した学内講習会は、以下のとおりです (12 回)。

講習会名	Moodle 初心者向け講習会
開催日時	(日程 B)2009 年 3 月 9 日(月) 15:00~17:00 (日程 C)2009 年 3 月 19 日(木) 15:00~17:00 ※日程 B, C は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第 1 端末室
受講対象	教員, 大学院生 (TA), 学部生 (SA)
受講者数	日程 B:3 人
講習内容	Moodle 初心者を対象にした学習管理システム Moodle の実習中心の入門講習。 【主な内容】 1. Moodle システムの概要 2. コース開講までの流れ 3. 受講者の登録 4. 講義資料等の公開 5. 課題の作成と評価 6. 小テストの作成と評価

講習会名	新 Blackboard (Blackboard Learn R9) へのコース移行に関する説明会
開催日時	(日程 A)2009 年 4 月 15 日(水) 16:30~17:00 (日程 B)2009 年 4 月 16 日(木) 16:30~17:00 ※日程 A, B は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第 1 端末室
受講対象	現在 Blackboard を利用されている教員
受講者数	1 人
担当講師	総合情報基盤センター 木原寛
講習内容	Blackboard Learn R9 の新規導入に伴い、現在の Blackboard Academic Suite R7 は 2010 年 3 月半ばに運用を停止する。本講習会は、Blackboard Learn R9 への移行の方法説明会(実習あり)。

講習会名	「情報処理」における WebCT の利用法
開催日時	(日程 A)2009 年 4 月 15 日(水) 16:30~17:30 (日程 B)2008 年 4 月 16 日(木) 16:30~17:30 ※日程 A, B は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター 3F 第 3 端末室
受講対象	2009 年度(五福キャンパス)教養教育「情報処理」科目担当者およびその TA
受講者数	日程 A:10 人, B:16 人
担当講師	総合情報基盤センター 上木佐季子
講習内容	教養教育「情報処理」用コースの使用法 【主な実習内容】 ・用意された課題の提示方法 ・用意された確認テストの提示方法 ・課題の評価方法 ・テスト結果の確認方法 ・講義資料の提示方法

講習会名	高速計算サーバ利用者講習会
開催日時	(日程 A)2009 年 4 月 28 日(火) 16:30~18:00 (日程 B)2009 年 5 月 8 日(金) 16:30~18:00 ※日程 A, B は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第 1 端末室
受講対象	センターの高速計算サーバのアカウントを所有している方、今後、センターの高速計算サーバの利用を検討している方(大学教員、および学生)
受講者数	日程 A:3 人, B:1 人
担当講師	総合情報基盤センター 布村紀男
講習内容	【主な内容】 ・高速計算サーバ概要説明(ハードウェア、ソフトウェア) ・リモート・ログイン接続設定 ・バッチジョブの実行方法 ・テストプログラムの実行 ・その他 (利用相談等)

講習会名	表計算講習会
開催日時	(日程 A) 第1回 2009年5月25日(月) 13:00~14:30 第2回 2009年6月1日(月) 13:00~14:30 第3回 2009年6月8日(月) 13:00~14:30 (日程 B) 第1回 2009年5月28日(木) 13:00~14:30 第2回 2009年6月4日(木) 13:00~14:30 第3回 2009年6月11日(木) 13:00~14:30 ※日程 A, B は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第1 端末室
受講対象	学生
受講者数	日程 A:1 人
担当講師	総合情報基盤センター 牧野久美
講習内容	本講座は 3 回完結。 【目的】Excel2007 を利用して、情報処理科目で学んだ表計算の復習を行う。表計算の基本的な事項を習得し、専門の授業、就職後の実務で役立つ活用方法を理解する。 【主な内容】 ・計算式の入力 ・表の作成 ・関数を使った計算 (合計を求める SUM 関数・データを判定する IF 関数・データを参照する VLOOKUP 関数 など) ・データベース

講習会名	はじめての PowerPoint
開催日時	2009年6月18日(木)16:30~18:00
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第1 端末室
受講対象	教員(ただし、PowerPoint 初心者)
受講者数	6 人
担当講師	総合情報基盤センター 高井正三
講習内容	プレゼンテーション・ソフトウェア PowerPoint2007 を使ってスライドを作成し、発表する方法を習得します。PowerPoint(2007)初心者を対象にした実習形式の入門講習会。 【主な実習内容】 ・PowerPoint の起動とスライドの作成、保存と終了の方法 ・既存スライドの呼び出し、複写、再編集、移動、追加、削除の方法 ・スライド・ストーリーの組み立て方 ・表・グラフ・図形作成と写真画像の組み込み方法 ・リハーサルとプレゼンテーションの実行・戻り・中断・再会の方法

講習会名	はじめての Excel
開催日時	2009年6月22日(月)16:30~18:00
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第1 端末室
受講対象	教員 (ただし, Excel 初心者)
受講者数	4 人
担当講師	総合情報基盤センター 高井正三
講習内容	表計算ソフトウェア Excel を使って表を作成し集計し、グラフを作成する方法を習得する。 Excel(エクセル 2007) 初心者を対象にした実習形式の入門講習。 【主な実習内容】 ・Excel の起動と計算表 spread sheet の作成、保存と終了の方法 ・既存 spread sheet の呼び出し・再編集、行・列の追加・削除・移動の方法 ・グラフの作成方法、グラフの種類と特性 ・条件付き書式の使用法 ・印刷・保存の方法

講習会名	新 Blackboard(Blackboard Learn R9)による学習管理システム入門
開催日時	2009年6月23日(火)16:30~17:30
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第1 端末室
受講対象	学習管理システム (e ラーニングシステム) に興味を持っているがほとんど使ったことが無い教員
受講者数	1 人
担当講師	総合情報基盤センター 木原寛
講習内容	学生との連絡や課題の提出と評価をオンラインで行う方法を、Blackboard Learn R9 を用いて実習形式で説明。 【主な内容】 ・授業用コースの設定 ・連絡事項 ・講義資料の提示方法 ・課題の提示方法 ・課題の評価方法

講習会名	WebCT から新 Blackboard (BbR9) へのコース移行方法
開催日時	2009年9月28日(月)14:00~15:30
開催場所	総合情報基盤センター 3F 第3 端末室
受講対象	現在 WebCT にコースを持っている教員
受講者数	6 人
担当講師	総合情報基盤センター 上木佐季子
講習内容	WebCT から新 Blackboard(BbR9)へのコース移行手順と BbR9 でのコースおよびユーザ管理に関する実習形式の講習。

講習会名	WebCT から新 Blackboard(BbR9)へのコース移植方法
開催日時	2009年10月23日(金)13:30~14:30
開催場所	総合情報基盤センター 3F 第3 端末室
受講対象	現在 WebCT にコースを持っている教員
担当講師	総合情報基盤センター 上木佐季子
講習内容	WebCT から新 Blackboard(BbR9)へのコース移植手順と BbR9 でのコースおよびユーザ管理に関する実習形式の講習。

講習会名	PowerPoint 初級講座
開催日時	(日程 A)2010年2月23日(火)13:00~14:30 (日程 B)2010年2月25日(木)13:00~14:30 ※日程 A, B は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター1F 第1 端末室
受講対象	教員 (ただし, PowerPoint 初級者)
受講者数	日程 A:4 人
担当講師	総合情報基盤センター 牧野久美
講習内容	プレゼンテーションソフト MS-Office PowerPoint2007 を使って、スライド作成の基本操作から、ビジュアル表現を加えるための編集、スライドショーの設定、資料の作成まで、プレゼンテーションソフトの基本的な操作を習得する。 【主な実習内容】 ・スライドのデザイン ・スライドのレイアウト ・オブジェクト(画像・表・グラフ)の挿入 ・アニメーション効果 ・スライドショーの実行 ・プレゼンテーションの資料作成 など

講習会名	表計算講習会
開催日時	(日程 A) 第1回 2009年11月2日(月) 13:00~14:30 第2回 2009年11月9日(月) 13:00~14:30 第3回 2009年11月16日(月) 13:00~14:30 (日程 B) 第1回 2009年11月6日(金) 13:00~14:30 第2回 2009年11月13日(金) 13:00~14:30 第3回 2009年11月20日(金) 13:00~14:30 ※日程 A, B は同じ内容
開催場所	総合情報基盤センター 1F 第1 端末室
受講対象	学生
受講者数	日程 A:4 人, B:2 人
担当講師	総合情報基盤センター 牧野久美
講習内容	本講座は3回完結。 【目的】Excel2007 を利用して、情報処理科目で学んだ表計算の復習を行う。表計算の基本的な事項を習得し、専門の授業、就職後の実務で役立つ活用方法を理解する。 【主な内容】 ・計算式の入力 ・表の作成 ・関数を使った計算 (合計を求める SUM 関数・データを判定する IF 関数・データを参照する VLOOKUP 関数 など) ・データベース

貸し出しソフトウェア一覧

富山大学総合情報基盤センターでは、下記のソフトウェアについてライセンス契約を結んでおり、利用資格を満たす希望者に対してライセンスの貸出しを行っています。

利用に関する詳細は、センターの Web ページを参照ください。

URL : <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/service/license.html>

平成 22 年 1 月 4 日現在

ソフトウェア	Ver.	利用用途等	利用申請資格者
Symantec Endpoint Protection (Windows)	11.0.4	ウイルス対策	本学の教職員
Symantec AntiVirus CorporateEdition (Windows)	10.2.1		
Symantec AntiVirus (MacOS 10.4 以下)	10.2		
Symantec AntiVirus (MacOS 10.5 以上)	10.0		
トレンドマイクロ ウイルスバスター (Windows)	2009		五福キャンパスの教員
ESET NOD32 AntiVirus(Windows)	4.0		五福・杉谷キャンパス教員
JMP(Windows, Mac OS)	8.0	データ分析/統計	五福・杉谷キャンパス
SPSS Base System	17	統計解析	本学の教員
Amos(日本語版対応)	17	共分散構造分析	五福キャンパスの教員
Eviews	6	計量経済学 データ分析	五福キャンパスの教員
Matlab	2008a	データ解析, モデリング等	本学の教員
Mathematica	7.0	数式処理等	五福キャンパスの教員
MolStudio	R4	分子軌道計算プリ・ ポスト	高速計算サーバ利用登録者
Barista	5.2	配座計算 プリ・ポスト	五福キャンパス高速計算 サーバ利用登録者
ANSYS Multiphysics	11	連成物理解析ツール	高速計算サーバ利用登録者
Marc/Mentat	2007r1	構造解析	高速計算サーバ利用登録者
Amber	8	分子力学・動力学計算	高速計算サーバ利用登録者
Gaussian	03E.01	分子軌道計算	五福キャンパス高速計算 サーバ利用登録者
	03D.01		杉谷キャンパス高速計算 サーバ利用登録者
Intel Fortran Compiler	10.1	コンパイラ	五福キャンパスの教員